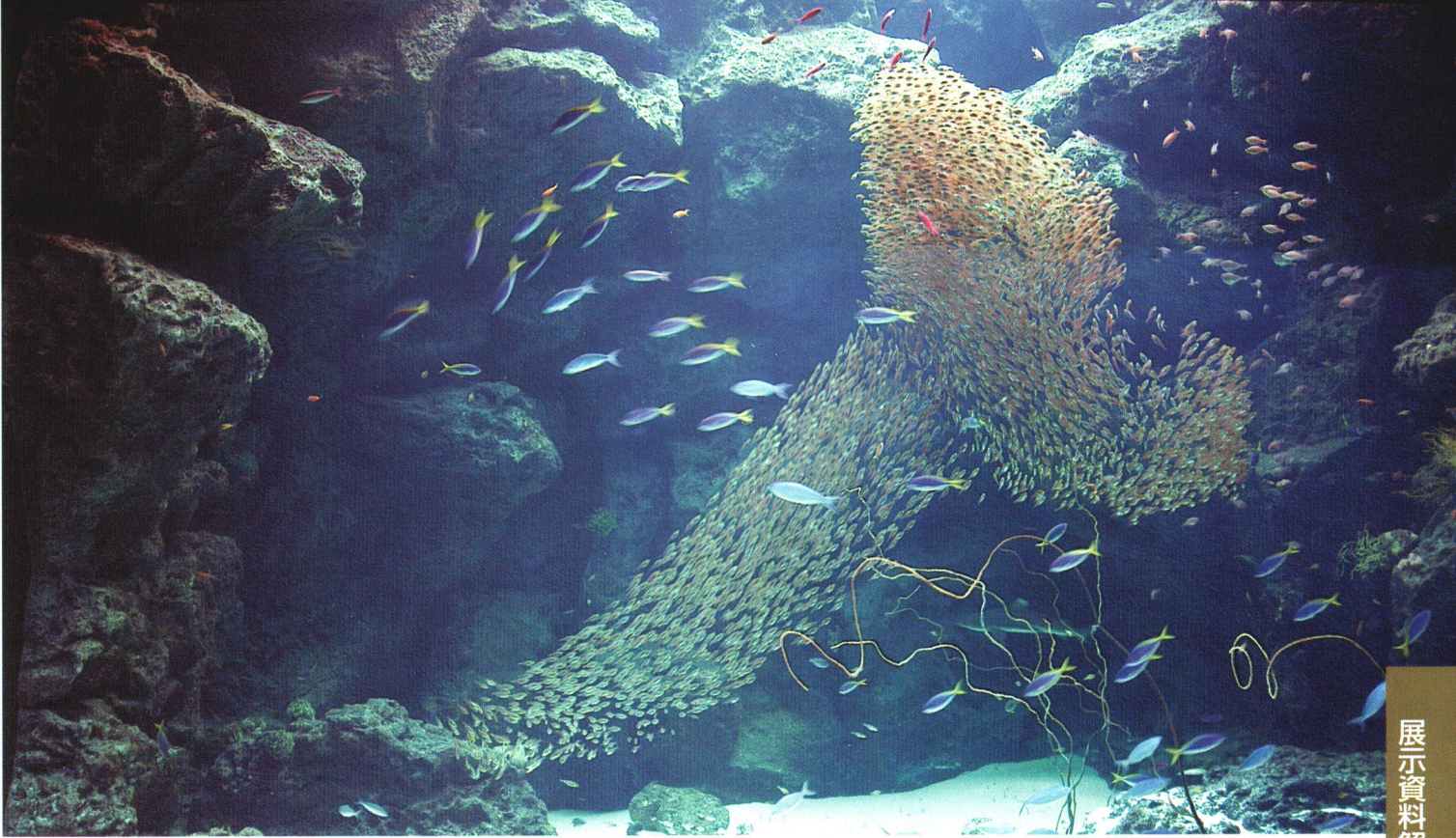


マングローブの森をぬけると、その先には美しいサンゴ礁が広がっています。サンゴ礁をつくっている造礁サンゴの仲間は、サンゴ虫という小さな動物が集まってできています。サンゴ虫は自分でエサをとらえて食べるのと同時に、体の中にすんでいる褐虫藻類が光合成によってつくりだす栄養分も取り入れて生きています。サンゴ虫は石灰質の固い骨格をつくりながら成長し、長い年月をかけて広大なサンゴ礁を築きあげます。ここでは、黒潮源流域のサンゴ礁にすむさまざまな生き物を見ることができます。



▲サンゴ礁の水槽

### ③ ヒレジャコガイ

サンゴ礁にすむ大型の二枚貝で、大きなものは40cmほどになります。サンゴの仲間と同じように、体の中に褐虫藻類(かっちゅうそうるい)を持っていて、これが光合成でつくりだす養分を利用して生きています。



▲ヒレジャコガイ



▲メガネモチノウオ

### ④ メガネモチノウオ

潮通しのよいサンゴ礁にすむベラの仲間で、大きなものは2mに達します。大きくなるにつれて額がこぶ状につき出し、この形が昔のフランス軍隊の帽子に似ていることからナポレオンフィッシュとも呼ばれます。